

A

2

地域社会貢献活動で業界の振興発展を ～ミキサー車で消火応援～

茨城県生コンクリート工業組合

住 所	〒310-0803 茨城県水戸市城南3丁目16番31		
U R L	https://i-namakon.or.jp/		
設 立	昭和52年11月	主 な 業 種	生コンクリート製造業
組 合 員 数	23人	出 資 金	920千円

■背景・目的

当業界は受注型産業であり、発注状況により、年間需要量は大幅に増減するなど中長期的な需要予測ができない。組合員の主な取引先は、公共工事を行う自治体、また建設業者等であり、一般県民（消費者）との接点は殆どなく、消費者は、当業界の業務の内容やコンクリートの安全性や耐久性の理解度は高くない。それが要因の一つとして、需要の停滞や従業員の確保が難しくなっている側面もあるため、地域社会への貢献活動を通して業界の振興発展を図ろうとしている。

■取組みの手法と内容

平成28年12月に新潟県糸魚川市で発生した大規模火災にてコンクリートミキサー車が消火応援したことがきっかけで、平成30年3月に、当組合並びに県内各地で事業活動を行う3つの生コンクリート協同組合と茨城県の間で、県内で大規模火災等が発生、または発生するおそれがある場合、コンクリートミキサー車を活用した消防用水の供給を行う協定の締結に至った。令和3年4月、大子町で林野火災が発生し、協定に基づき、県及び大子町消防本部から応援協力要請を受け、当組合の2組合員（3工場）が2日間で約73m³の消防用水を現地にミキサー車（2日で延べ14台）で運搬・供給し、鎮火に貢献した。

当組合では、組合員工場の品質管理監査を定期的を実施しており、事務局は、全組合員の工場立地状況、上水・地下水の状況、ミキサー車の保有台数等を把握していることから、火災が発生し、応援要請があった場合、迅速に当該地域で応援可能な組合員を選択することができ、また、理事長と組合事務局は、常に連絡を取り合える体制となっていたことから、迅速かつ円滑な災害応援を行うことができた。さらに、応援した組合員は、地域に密着した経営を心掛け、日頃から地域の消防署と万々に備えた連絡調整を行っていたことで円滑に消火活動を行うことができた。

■成果とその要因

本取り組みが新聞に掲載されたことで、一般県民等の当業界への認知度が高まった。また、組合員も地域社会貢献活動の必要性を再認識した。当組合では、本協定による活動にとどまらず、業界の振興発展のため、今後も地域社会貢献活動を推進していく。



組合員のミキサー車で消防用水を現地に運搬



組合員が運搬した消防用水で山林火災現場に放水



日頃から消防署と連携を密にするなど、地域に根ざした経営を行っていた組合員の存在が早期鎮火に結びついた要因であると言える。